

2023年12月期 第3四半期 決算説明資料

株式会社レゾナック・ホールディングス

取締役 常務執行役員 CFO

染宮 秀樹

2023年11月9日

RESONAC

1

- ・当第3四半期累計(1-9月)の売上高は9,423億円で、前年同期比で918億円減収
- ・半導体生産調整やデータセンターの需要低迷による影響を受けた半導体・電子材料セグメントが減収

- ・当第3四半期累計(1-9月)の営業損失は△43億円で、前年同期比で591億円減益
- ・減益の大部分は半導体・電子材料セグメント、とりわけHDメディア事業の減収が主要因

2

- ・通期(1-12月)の業績予想を修正。売上高は前回公表値から200億円増収の12,900億円、営業損失は前回公表値から80億円改善の△120億円

目次

1. 2023年12月期 第3四半期決算
2. 2023年12月期 通期業績予想

連結業績の概要 (前年同期比)

(億円)

項目	2022年 1-9月※1	2023年 1-9月	増減
売上高	10,342	9,423	△ 918
営業利益	547	△ 43	△ 591
営業外損益	106	△ 28	△ 134
経常利益	653	△ 71	△ 725
特別損益	△ 170	148	318
税金等調整前四半期純利益	484	77	△ 407
四半期純利益	437	△ 51	△ 489
親会社株主に帰属する 四半期純利益	367	△ 64	△ 430
EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん等償却費)	1,357	775	△ 583
対売上EBITDA%	13.1%	8.2%	△ 4.9p

参考

継続事業ベース※2

(億円)

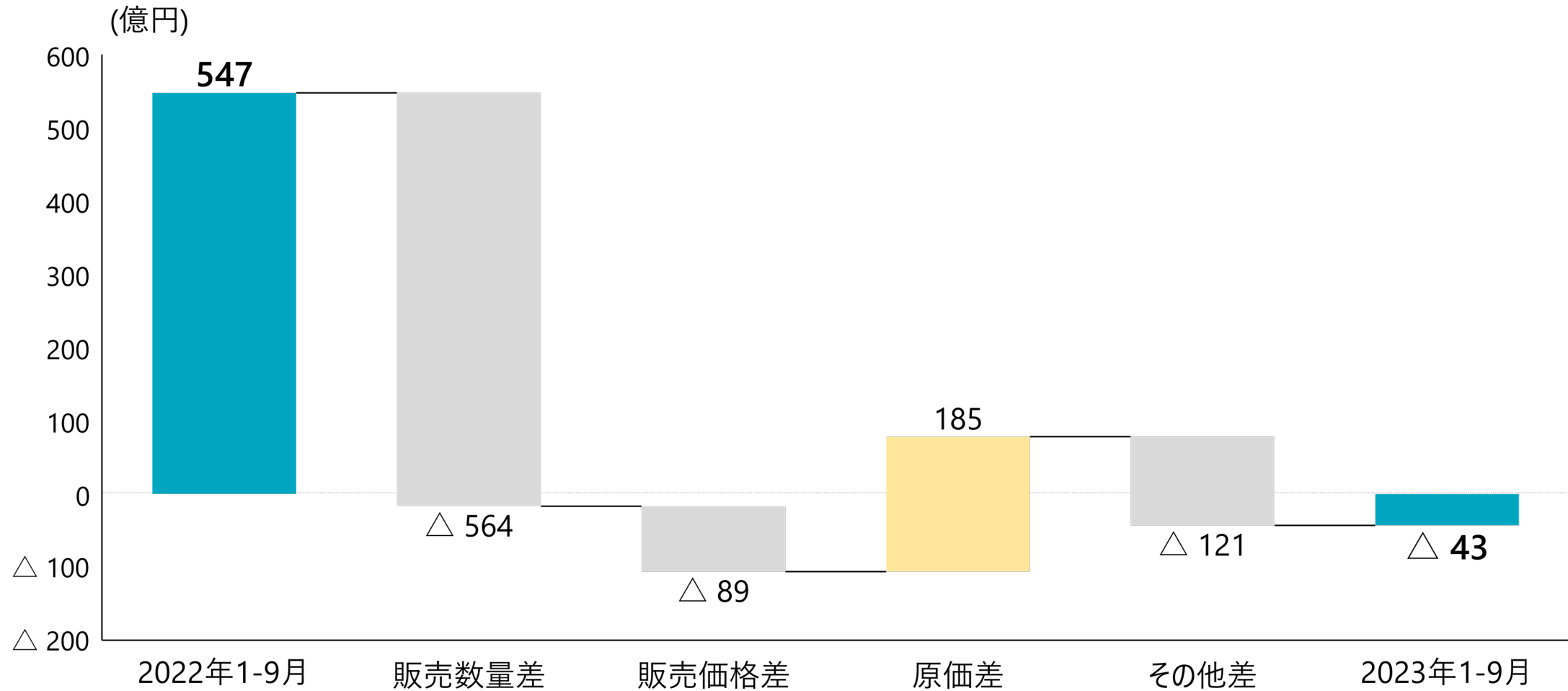
	2022年 1-9月	2023年 1-9月	増減
売上高	10,145	9,358	△ 787
営業利益	547	△ 47	△ 594

EBITDA	1,352	767	△ 585
対売上 EBITDA%	13.3%	8.2%	△ 5.1p

※1 当期からの会計方針変更を遡及適用後の数値
他頁の2022年値についても同じ

※2 事業譲渡したISOLITE GmbHおよび診断薬事業
を除いた参考値 (監査対象外)

連結営業利益差異内訳 (前年同期比)



セグメント別売上高・営業利益・EBITDA (前年同期比)

(億円)

セグメント		2022年 1-9月	2023年 1-9月	増減	増減率
半導体・電子材料	売上高	3,323	2,417	△ 906	△ 27%
	営業利益	405	△ 125	△ 530	-
	EBITDA	781	275	△ 506	△ 65%
モビリティ	売上高	1,349	1,316	△ 33	△ 2%
	営業利益	△ 14	0	15	-
	EBITDA	128	140	11	9%
イノベーション材料	売上高	1,056	955	△ 101	△ 10%
	営業利益	76	83	7	9%
	EBITDA	140	147	6	4%
ケミカル	売上高	3,770	3,847	78	2%
	営業利益	193	102	△ 91	△ 47%
	EBITDA	321	231	△ 90	△ 28%
その他・調整額	売上高	844	888	44	5%
	営業利益	△ 113	△ 104	9	-
	EBITDA	△ 13	△ 18	△ 4	-
合計	売上高	10,342	9,423	△ 918	△ 9%
	営業利益	547	△ 43	△ 591	-
	EBITDA	1,357	775	△ 583	△ 43%

セグメント別サマリー (半導体・電子材料) (前年同期比)

(億円)

項目	2022年 1-9月	2023年 1-9月	増減	増減率	業績概況
売上高	3,323	2,417	△ 906	△ 27%	<p>前年後半からの需要低迷が継続し減収。 HDメディアの棚卸資産において、低価法による簿価切り下げや廃棄損を計上したこともあり、営業赤字</p> <p>・半導体前工程材料: 年初から半導体前工程の生産調整の影響が生じ、電子材料用高純度ガス、CMPスラリーともに減収</p> <p>・半導体後工程材料: 前年後半から低迷した需要は、足元では持ち直しの動きが見られるも、前年同期の水準には及ばず、主要製品は全て減収</p> <p>・デバイスソリューション: HDメディアはデータセンター向け需要低迷が継続し、大幅減収。SiCエピタキシャルウェハは出荷数量増で増収</p>
半導体前工程材料	732	576	△ 155	△ 21%	
半導体後工程材料	1,459	1,166	△ 293	△ 20%	
デバイスソリューション	844	431	△ 413	△ 49%	
その他	289	243	△ 45	△ 16%	
営業利益	405	△ 125	△ 530	-	
EBITDA	781	275	△ 506	△ 65%	
対売上EBITDA%	23.5%	11.4%	△ 12.1p	-	

主要製品

- 半導体前工程材料: 電子材料用高純度ガス、半導体回路平坦化用研磨材料(CMPスラリー)
- 半導体後工程材料: エポキシ封止材、ダイボンディング材料、銅張積層板、感光性フィルム、感光性ソルダーレジスト
- デバイスソリューション: HDメディア、SiCエピタキシャルウェハ、化合物半導体(LED)

セグメント別サマリー (モビリティ) (前年同期比)

(億円)

項目	2022年 1-9月※	2023年 1-9月	増減	増減率	業績概況
売上高	1,349	1,316	△ 33	△ 2%	<p>売上高は、新規車種向け製品の立上があったものの、前年7-9月期のISOLITE GmbH事業譲渡に加え、一部製品で民生需要の低迷の影響を受けたことで減収。営業利益は不採算製品対策効果の顕現もあり増益</p> <p>・自動車部品: 新規車種向け製品の立上や北米地域における自動車生産の回復により、樹脂成形品、摩擦材、粉末冶金製品それぞれ増収</p> <p>・リチウムイオン電池材料: 正負極用導電助剤、カーボン負極材は増収となったものの、民生需要の低迷により、アルミラミネートフィルム(SPALF)が減収</p>
自動車部品	1,094	1,095	1	0%	
リチウムイオン電池材料	237	220	△ 17	△ 7%	
その他	18	1	△ 17	△ 97%	
営業利益	△ 14	0	15	-	
EBITDA	128	140	11	9%	
対売上EBITDA%	9.5%	10.6%	1.1p	-	

主要製品

- 自動車部品: 樹脂成形品、摩擦材、粉末冶金製品
- リチウムイオン電池材料: アルミラミネートフィルム(SPALF)、正負極用導電助剤、カーボン負極材

※2022年に事業譲渡したISOLITE GmbH含み

セグメント別サマリー (イノベーション材料) (前年同期比)

(億円)

項目	2022年 1-9月	2023年 1-9月	増減	増減率	業績概況
売上高	1,056	955	△ 101	△ 10%	数量は減少したものの、原材料価格高騰に伴う値上げにより製品販売価格は上昇し、減収増益
営業利益	76	83	7	9%	
EBITDA	140	147	6	4%	
対売上EBITDA%	13.3%	15.3%	2.1p	-	

主要製品

- 樹脂材料、機能性化学品、コーティング材料、セラミックス、アルミ機能部材

セグメント別サマリー (ケミカル) (前年同期比)

項目	2022年 1-9月	2023年 1-9月	増減	増減率	業績概況
売上高	3,770	3,847	78	2%	・石油化学: 4年に一度の定修による停止があった前年と比較して数量伸び増収増益 ・化学品: 原燃料上昇に対応した価格転嫁が進み増収増益 ・黒鉛電極: 前年比で出荷数量は減ったものの、原価上昇にキャッチアップした値上げにより増収、受払差のマイナス影響により減益
石油化学	2,304	2,327	23	1%	
化学品	615	637	22	4%	
黒鉛電極	849	870	21	3%	
その他	2	13	11	668%	
営業利益	193	102	△ 91	△ 47%	
EBITDA	321	231	△ 90	△ 28%	
対売上EBITDA%	8.5%	6.0%	△ 2.5p	-	

主要製品

- 石油化学: オレフィン、有機化学品
- 化学品: 基礎化学品、産業ガス

営業外損益内訳

(億円)

項目	2022年 1-9月	2023年 1-9月	増減
金融収支	△ 86	△ 83	3
持分法投資損益	38	9	△ 30
為替差益	171	71	△ 100
その他	△ 17	△ 25	△ 8
営業外損益 計	106	△ 28	△ 134

特別損益内訳

(億円)

項目	2022年 1-9月	2023年 1-9月	増減
事業譲渡益	3	243	241
固定資産除売却損	△ 30	△ 29	0
減損損失	△ 48	△ 41	7
特別退職金	△ 3	△ 65	△ 62
事業譲渡損	△ 35	-	35
独占禁止法関連損失	△ 61	-	61
その他	4	40	36
特別損益 計	△ 170	148	318

連結貸借対照表

(億円)

資産	2022年 12月末※1	2023年 9月末	増減	負債・純資産	2022年 12月末※1	2023年 9月末	増減
現預金	1,865	2,254	389	営業債務	1,941	1,779	△ 161
営業債権	2,661	2,617	△ 44	有利子負債	10,626	10,503	△ 123
たな卸資産	2,505	2,485	△ 19	その他負債	2,623	2,736	112
その他流動資産	840	596	△ 244	負債計	15,190	15,018	△ 172
流動資産計	7,870	7,951	81	株主資本計	4,446	4,261	△ 185
有形固定資産計	6,781	6,971	191	(内、利益剰余金)	1,659	1,474	△ 185
無形固定資産計	4,937	4,800	△ 137	その他の包括利益累計額計	1,057	1,447	390
(内、のれん)	2,954	2,917	△ 37	(内、その他有証評価差額金)	4	2	△ 2
(内、その他無形固定資産)	1,983	1,883	△ 100	(内、為替換算調整勘定)	720	1,127	407
投資その他の資産計	1,350	1,266	△ 83	非支配株主持分	244	263	18
固定資産計	13,067	13,037	△ 30	純資産計	5,747	5,971	224
資産合計	20,937	20,989	52	負債・純資産合計	20,937	20,989	52

主要指標

ネットD/Eレシオ (倍)※2	1.07	0.97	△ 0.10	自己資本比率 (%)※3	26.3	27.2	0.9p
-----------------	------	------	--------	--------------	------	------	------

※1 当期からの会計方針変更を遡及適用後の数値。他頁の2022年値についても同じ

※2 {(借入金 + コマーシャルペーパー + 社債 + リース債務) - 現金及び預金 - 劣後ローン × 50%} ÷ (自己資本 + 劣後ローン × 50%)

劣後ローン(借入金に含まれる)の50%の資本性は、2020年4月27日付の(株)日本格付研究所の格付に基づく

※3 {(純資産計 - 非支配株主持分) / 負債・純資産合計} × 100

目次

1. 2023年12月期 第3四半期決算
2. 2023年12月期 通期業績予想

2023年連結業績予想

項目	2022年 通期実績※1	2023年 通期予想※2	増減	2023年前回予想※3	
				通期予想	増減
売上高	13,926	12,900	△ 1,026	12,700	200
営業利益	617	△ 120	△ 737	△ 200	80
営業外損益	△ 0	△ 90	△ 90	△ 60	△ 30
経常利益	617	△ 210	△ 827	△ 260	50
特別損益	△ 108	△ 190	△ 82	△ 100	△ 90
税金等調整前当期純利益	509	△ 400	△ 909	△ 360	△ 40
当期純利益	397	△ 410	△ 807	△ 350	△ 60
親会社株主に帰属する当期純利益	324	△ 430	△ 754	△ 370	△ 60
EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん等償却額)	1,705	974	△ 731		
対売上EBITDA%	12.2%	7.6%	△ 4.7p		
ROIC*4	3.3%	△0.8%	△ 4.1p		
ネットD/Eレシオ (倍)*5	1.07	1.02	△ 0.05		
1株当たり当期純利益	179円02銭	△237円40銭	△416円42銭		
1株当たり配当金	65円	65円	-		

(億円)

※1 当期からの会計方針変更を遡及適用後の数値。
他頁の2022年値についても同じ

※2 2023年11月9日公表

※3 2023年8月8日公表

※4 (営業利益+持分法投資損益-法人税)÷
(有利子負債+純資産)

※5 {(借入金+コマーシャルペーパー+社債+リース債務) -
現金及び預金 - 劣後ローン×50%} ÷ (自己資本+劣後ローン
×50%)劣後ローン(借入金に含まれる)の50%の資本性は、
2020年4月27日付の㈱日本格付研究所の格付に基づく

2023年セグメント別売上高・営業利益予想

(億円)

セグメント	項目	2023年 今回予想 ^{※1}					2022年実績	
		1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q予想	通期予想	通期実績	増減
半導体・電子材料	売上高	694	840	883	913	3,330	4,272	△ 942
	営業利益	△ 104	△ 27	6	△ 15	△ 140	455	△ 595
モビリティ	売上高	425	431	460	504	1,820	1,806	14
	営業利益	△ 5	△ 3	8	10	10	△ 7	17
イノベーション材料	売上高	300	319	336	345	1,300	1,411	△ 111
	営業利益	20	23	40	17	100	101	△ 1
ケミカル	売上高	1,271	1,278	1,298	1,353	5,200	5,278	△ 78
	営業利益	39	9	54	△ 22	80	249	△ 169
その他・調整額	売上高	299	304	285	362	1,250	1,159	91
	営業利益	△ 43	△ 41	△ 20	△ 66	△ 170	△ 181	11
合計	売上高	2,989	3,172	3,262	3,477	12,900	13,926	△ 1,026
	営業利益	△ 92	△ 40	89	△ 77	△ 120	617	△ 737

※ 2023年11月9日公表

抜本的な収益体質改善に向け、構造改革を着実に推進中

HDメディア 事業

- ▶ **生産規模・人員規模の最適化**
 - ・台湾生産拠点の年内閉鎖を決定
 - ・1Q発表の生産能力削減と合わせて生産能力を年初比1/3削減

モビリティ 事業

- ▶ **不採算の「製品×顧客組み合わせ」の値上げ・撤退**
 - ・1品目追加し重点品目は計48品目
 - ・9月末時点で11品目の施策完了、合計20億円の採算改善
 - ・32品目について値上げ・撤退交渉中、5品目が施策推進中

全社横断

赤字製品 の撲滅

- ▶ **国内取引を中心にリストアップした、不採算の「製品×顧客組み合わせ」に対する収益改善**
 - ・リストアップ品目※は2023年9月末時点で全体の62%が施策完了
 - ・残りの20%については値上げ・撤退取組中(うち68%が2023年12月末完了予定)
- ※本集計上、別掲のモビリティ・HDメディア事業、市況影響の大きい石油化学事業は除く

Appendix

連結対象会社 (前期末対比)

連結子会社： 104社 (△4社)

+ 4社: AMI完全子会社化関連

△ 3社: 診断薬事業売却関連

△ 5社: 海外拠点統合関連 他

持分法適用会社： 12社 (△1社)

主要諸元

(期中平均)

	2022年		2023年			
	1-9月	7-9月	1-9月	7-9月	10-12月予想	通期予想
為替レート						
(円/US\$)	128.0	138.4	138.1	144.6	146.2	140.0
	2022年9月 期末レート:144.8		2023年9月 期末レート:149.6			
(円/€)	136.0	139.3	149.6	157.3	159.8	152.2
国産ナフサ (円/KL)	77,350	81,400	65,850	63,600	72,500	67,550

(億円)

セグメント	2022年 1-9月	2023年 1-9月	増減
半導体・電子材料	333	289	△ 44
モビリティ	66	65	△ 1
イノベーション材料	51	42	△ 9
ケミカル	152	133	△ 18
その他	162	94	△ 67
合計	763	623	△ 140

(億円)

	2022年 1-9月実績※	2023年 1-9月実績	増減
設備投資	763	623	△ 140
減価償却費 (PPA、のれん償却額除く)	565	572	7
PPA償却費	119	119	0
のれん償却額	126	127	0
研究開発費	348	319	△ 29
金融収支	△ 86	△ 83	3
優先株配当	△ 54	-	54

※ 当期からの会計方針変更を遡及適用後の数値。他頁の2022年値についても同じ

セグメント		2022年 1-9月	2023年 1-9月	増減	(億円)
半導体・電子材料	減価償却費(PPA除く)	183	207	24	
	PPA償却費	93	93	-	
	のれん償却額	99	99	-	
モビリティ	減価償却費(PPA除く)	111	107	△ 3	
	PPA償却費	16	16	-	
	のれん償却額	16	16	-	
イノベーション材料	減価償却費(PPA除く)	51	50	△ 1	
	PPA償却費	7	7	0	
	のれん償却額	6	6	0	
ケミカル	減価償却費(PPA除く)	126	127	1	
	PPA償却費	2	2	0	
	のれん償却額	0	0	△ 0	
その他	減価償却費(PPA除く)	88	76	△ 12	
	PPA償却費	1	1	-	
	のれん償却額	5	5	0	
継続事業ベース※ 合計	減価償却費(PPA除く)	559	568	9	
	PPA償却費	119	119	0	
	のれん償却額	126	127	0	
非継続事業	減価償却費(PPA除く)	5	4	△ 1	
	PPA償却費	-	-	-	
	のれん償却額	-	-	-	
合計	減価償却費(PPA除く)	565	572	7	
	PPA償却費	119	119	0	
	のれん償却額	126	127	0	

※ 事業譲渡したISOLITE GmbHおよび診断薬事業を除いた参考値(監査対象外)

(億円)

項目	2023年 4-6月	2023年 7-9月	増減
売上高	3,172	3,262	90
営業利益	△ 40	89	128
営業外損益	35	△ 46	△ 82
経常利益	△ 4	42	47
特別損益	2	185	183
税金等調整前四半期純利益	△ 2	227	229
四半期純利益	△ 74	135	209
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 76	134	210
EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん等償却費)	232	364	133
対売上EBITDA%	7.3%	11.2%	3.9p

(億円)

セグメント		2022年※1				
		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	通期実績
半導体・電子材料	売上高	1,073	1,130	1,120	948	4,272
	営業利益	132	141	132	50	455
モビリティ	売上高	412	389	450	457	1,708
	営業利益	3	△ 12	1	7	△ 1
イノベーション材料	売上高	343	357	356	355	1,411
	営業利益	29	26	21	25	101
ケミカル	売上高	951	1,295	1,525	1,508	5,278
	営業利益	22	109	62	56	249
その他	売上高	237	243	266	281	1,027
	営業利益	△ 32	△ 42	△ 45	△ 75	△ 194
継続事業ベース※2 合計	売上高	3,016	3,414	3,715	3,551	13,696
	営業利益	154	222	171	63	611
非継続事業	売上高	64	67	66	34	230
	営業利益	4	△ 0	△ 3	7	7
合計	売上高	3,080	3,480	3,781	3,585	13,926
	営業利益	158	222	168	70	617

※1 当期からの会計方針変更を遡及適用後の数値。他頁の2022年値についても同じ

※2 事業譲渡したISOLITE GmbHおよび診断薬事業を除いた参考値(監査対象外)

セグメント	トピックス
半導体・ 電子材料	台湾ハードディスクメディアの事業終了を発表
	Matmerize社とマテリアルズ・インフォマティクスに関する戦略的パートナーシップを締結 6G向け半導体材料の開発を加速
モビリティ	異方性ボンド磁石の強度と磁気特性を両立した新技術を開発
ケミカル	大分コンビナートでISCC PLUS認証を取得
	水素エネルギーで世界が注目、レゾナックのケミカルリサイクル施設を IPEFが視察 ～使用済みプラスチックが化学の力で水素・アンモニアに生まれ変わる～

ニュースリリース

詳細は各ニュースリリースをご参照ください。

<https://www.resonac.com/jp/news>

注意事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。

なお、法令に定めのある場合を除き、当社はこれらの将来予測に基づく記述を更新する義務を負いません。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績に影響を与える要素には、国際情勢、ナフサ等原材料価格、黒鉛電極等製品の需要動向および市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。